



多くの仲間ができました。

令和5年度全日本青少年育成アドバイザー連合会主催の「後継者養成講習会」が、令和5年2月23日(金)～25日(日)にかけて、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、開催されました。

受講者は北海道から沖縄までの総勢44名の受講者で、朝から晩まで楽しく講座を受講しました。多くの仲間ができたようです。



総会・研究集会のご案内

日時：令和6年6月22日(土)～23日(日)

場所：岩手県民情報交流センター(アイーナ)
岩手県青少年会館

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1



課題別研究

みんなの知恵で



素晴らしい提案ができました。

各グループで与えられた、それぞれの課題について、現状はどうか、課題は何か、どう行動すればよいか、など、いろいろなグループで協議し、話をして研究しました。

最終日の閉校式前のそれぞれの発表では、グループごとに前に出て、それぞれの研究結果について素晴らしい提案ができたようです。

課題別研究 素晴らしい提案を



課題別研究 素晴らしい提案を



課題別研究 素晴らしい提案を



課題別研究 素晴らしい提案を



閉会の挨拶
香川 勝 会長

養成講座を受講して

どんな問題からも逃げずに関わり続ける自分を創りをします。



愛知県 山本 邦夫

現代の社会構造は複雑化し、ついて行けない人は取り残される社会環境となり、これからの大きな社会問題となると考える。多くの若者が、悩み、取り残されて自分の力だけではどうにもならない状況であり、周りで支え、助け合い、協力して取り組む必要がある。

しかし、現実には自分のことでみんな精一杯で、困っていたりしても、知らん顔、見て見ぬふりをして、蔑ろになっている現状が今の日本ではなかろうかと考える時間となりました。

しかし、若者がこれからの日本を創り続けることは事実であり、みんなでこの問題に取り組み、少しでも良い方向に進むことが望ましいと考えています。私自身も微力ではありますが、誰かが、できる人がやるべき課題であり、自分の置かれている立場であると受け止めました。日本の素晴らしさは、落とし物、財布を落としても、交番に届けてくれて、本人の元に戻るなど、外国ではありえないと良く聞きます。しかし、反面、困っている人がいても誰も助けようとしらない、例えばお金に関しても、日本の文化もありますが、そんなに簡単にお金を貸せば、相手のためにならないと借用書を交わしたりと、日本独自の考え方があり、お金の貸し借りは好んでやりたがらない文化がある。しかし本来困っていたならばお金を出してあげるべきで、人助けができる自分づくりをしたいとなるべきである。何か小さいことに拘り、本来の人としての姿、行動ができていない自分がいる。常にここは自分で意識して、大きな心で考え、接していくことで、大きな自分や支えられる自分が創れると考えるようになりたい。今回は多くの専門家の方より、経験談や現状を教えて頂き、今まではなんの問題とも感じていなかったことや、現実を知ることができ、とても学びある時間となりました。自分としては、IT化により、多くの課題解決ができると判断できたこと、微力であるが、多くの方と協力することで大きな力となり、多くの問題が解決できると理解できました。現代病である、うつ病や引きこもりなどはこれらも増え続けると考えなければならないが、どのようにすれば、減らせることができるのか、少しでも多くの方を助けられるのか

まだまだ問題が多くあり、現実的に答えは見つからない。会社経営を通じて、いろんな社会問題と関わり、精神的な病気や心の病は当然、関わることであり、常に隣り合わせであることから、しっかり学び、経験、体験を通じて自分の力、能力を磨き続けることが必要である。どんな問題からも逃げずに関わり続ける自分を創りをします。

本当に貴重な経験をさせて頂き、心より感謝致します

養成講座を受講して

地域の中で活動していきたい。



宮城県 正橋 裕美

3人の我が子のPTAや子供会を通じて、子どもたちと接するようになって、25年近くになります。子どもたちの基本は変わらないかもしれないけれど、ことば遣いや態度、先生や大人と接する姿は大きく変わってきていると感じていました。今回、この講習会を受講して、改めて今まで通りの考え方では通用しないと感じました。つつい今がいいとか悪いとか判断してしまいましたが、それよりも現在の環境や親子関係の変化を考え、理解する必要があると感じました。そして何かしてあげるという考えでなく、現代の親子に「寄り添う」気持ちが大切だと思いました。

また、講師の先生方の貴重な講義や各地で活動している方々との交流、何十年かぶりの勉強で正直大変でしたが、楽しい思い出となりました。世界では戦争、日本では地震などの自然災害、なかなか明るい夢をもてない子どもたちを今後とも何らかのかたちで地域の中で支えるお手伝いをしていきたいと思いました。地域によって、やり方や方法は違うことが多いとは思いますが、皆様から頂いた情報を参考にいくつになっても勉強する気持ちを忘れないで、今後とも地域の中で活動していきたいと思いました。講師の先生、事務局の皆さんありがとうございました。

「冒険・挑戦・耐性」この3つを忘れずに。

今回、はじめて青少健全育成アドバイザーを受けて楽しく学ぶことができました。たくさんの方々との情報交流ができてよかったです。すごい方々ばかりで緊張しましたが、みなさん優しくてお話しやすかったです。

「青少年を育むまちづくり」の講習会では、たくさんのヒントをいただきました。石垣島でも子どもたちの、社会性の低下が感じられます。欠損体験がどれだけ子どもたちに必要か改めて学ぶことができました。石垣島は素敵な自然に囲まれています。この自然との接触体験も大事にしたいと思います。「冒険・挑戦・耐性」この3つを忘れずに子どもたちとこれから先もかかわりたいです。また、団体の立ち上げにあたって、「子どもをほめよう運動」をこの島でやりたいです。地域ぐるみ育成は子どもたちの個性をのびのび育てることができると感じています。地域で子どもたちを見ることで子どもの犯罪やネグレクトを防止することもできると思います。地域の子どもたちと異年齢の市民が交流できる居場所を作って、すべての年齢が子どもたちとかかわり地域の活性化につなげることを目指していきたいです。

沖縄県 新城 真由美

養成講座 修了者

	氏名	性	住所		氏名	性	住所
1	島田 千恵美	女	愛知県	12	片平 貞子	女	宮城県
2	柳瀬 和昭	男	富山県	13	千葉 宏美	女	宮城県
3	中原 知恵	女	鳥取県	14	正橋 裕美	女	宮城県
4	小野寺久美子	女	宮城県	15	熊野 真美	女	香川県
5	山本 邦夫	男	愛知県	16	大森 綾希	女	大阪府
6	馬場 亜由巳	女	滋賀県	17	齋木 賢一	男	兵庫県
7	鈴木 康之	男	静岡県	18	木村 富子	女	埼玉県
8	湯室 美世子	女	滋賀県	19	名島 ゆかり	女	鳥取県
9	新城 真由美	女	沖縄県	20	中村 崇	男	東京都
10	鈴木 恵美	女	岩手県	21	與那城 美乃	女	沖縄県
11	千葉 千賀子	女	岩手県				

第14回 愛知県青少年アドバイザー研究集会 in 岡崎を開催しました

愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会事務局長 宇野 晃

愛知県青少年育成アドバイザーは県下青少年健全育成のために、令和5年度は様々な育成課題にチャレンジしてきました。その実践を持ち寄り評価反省し次年度の方向を探る機会として市民も巻き込み令和6年2月18日（日）愛知県岡崎市で開催しました。



統一テーマを「あなたは身近なところに居場所がありますか」とし、開催地岡崎市の育成課題である違法薬物汚染防止対策をメインとしました。

基調講演を『違法薬物汚染の現状と対策』で岡崎南ライオンズクラブの協力を得て、啓発DVDやクラブで行っている啓発寸劇を参加者も演じ合い防止対策を考えました。

その後3つテーマで分科会を行いました。

第1分科会は『なぜ違法薬物に染まるのか、その現状と防止対策をどう展開するか』で岡崎南ライオンズクラブの取組みと参加者の知見を交えて、身近でできる防止対策を話し合いました。「ゲーム感覚で使われている。ダイエットの健康薬として誘われる。スマホで簡単に検索し入手。ライブ会場でグミとして配られ、大麻の成分が混入されていた。」など身近に入手できるが、一度使うと脳が覚えており自滅の始まりとなり戻れません。だから「ダメ、絶対ダメ！！」と強く叫ばなくてはと啓発の方法を学びました。



第2分科会は『今日の青少年の居場所をどのように考え創っていくか』で、豊川市の青少年育成アドバイザーの早津さんの自宅での「三輪舎の居場所づくり」の事例発表を基に、参加者の子ども食堂等の取組の実践報告を得て、意見交換しました。「行政に頼るのではなく、地域や仲間的一致団結しての居場所づくりが重要。子ども達が、主体的に創る居場所、学校でもなく家でもなく子ども自ら選択

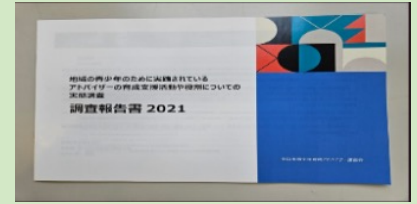
して自力でいける居場所「サードプレイス」が大事」など解決の糸口を得る分科会となりました。

第3分科会は『子ども・若者のネット利用は新たな居場所か』で慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究所員の花田経子氏の「SNS利用の実態と問題対策の方策」の講話後に、参加者の意見交換を行いました。子ども達は学校のギガスクール構想により情報通信技術環境に馴染み将来を生き抜く力を育むために学校から1人1台端末（タブレット）を与えられています。この端末を使ってネット利用が出来ます。調べものや連絡、リモート授業が受けられるなど、今、ネット利用は、子どもの居場所になっている現状があり、危険にさらされる機会も増えています。

そのために育成者はSNSの危険性を知らせ、疑わしいときは警察に相談するなど、子どもの話をよく聞いて、専門家につなげいくことが使命だと改めて気づかされました。

参加者は50名で青少年育成アドバイザー24名、ライオンズクラブ8名、市民18名でありました。

コロナ禍後のアド連活動（運動）への示唆



2021年に実施した「実態調査2021」では、大変お世話になりました。

この調査の目的は、コロナ禍後、青少年が元気を取り戻し、青少年育成運動の基本目標の一つ、「青少年が次代の日本を担う者として、誇りと責任を自覚し、その輝かしい未来を自ら開き希望に満ちて生きるよう」等と掲げてあります。この目標に向かって活動（運動）している私達、青少年育成アドバイザーの支援活動（運動）の方法と方向性を示唆する参考資料となるべく調査致しました。その調査結果である、単純集計「実態調査報告書2021」とクロス集計「調査報告書2021」の2冊に纏め、アンケートにご回答を頂いた各県に郵送させて頂きました。

その後、更に、全ての集計結果を実数、%（棒グラフ）で表示し、全アド連と自県の状況が分かるように冊子にしました。

青少年育成アドバイザー会員となられて数年しか経っていない等で、どの様な活動（運動）をしたら良いのか迷っている会員さん達には大変参考になり方向性が掴めると思います。また既アドバイザーで経験の長い会員さんは、現在の青少年を取巻く環境の変化の速さに多くの県がコロナ禍前の活動（運動）を継続して行きながらも、現在の子ども達を取巻く社会環境とのギャップに戸惑いを感じておられるのではないのでしょうか。

各県の今後の活動（運動）の活性化を図るため、この「実態調査2021」で他県の調査を参考にし、自県の取り組むべき活動（運動）を基本目標に則って、全アド連の役員と一緒に探索しましょう。我らアドバイザーの役割を再認識し、「志」と行動力を結集して団結し、自信と誇りを持って活動（運動）しましょう。希望する県に役員が参ります。どうぞお声がけ下さい。

※ 各県アドの研修等に、役員等を派遣し説明をさせていただきますので、是非令和6年度の研修会を計画されるときにご検討ください。

令和六年総会・研究集会

第28回 全日本青少年育成アドバイザー連合会 総会及び研究集会 in 岩手 開催要綱

1 趣 旨

青少年は社会の未来です。心豊かでたくましい青少年が育つことは、国民全ての願いです。「人は集団の中で人間になる」と言われていますが、コロナ禍により繰り返し続いてきた人流制限は、感染防止のためには重要な対策ではありましたが、必然の帰結として人々の生活を孤立化させ、暦年の課題である地域社会の希薄化に一層拍車をかけることとなりました。そのこともあいまって、全国各地では子ども会やPTAの在り方にも深刻な影を落としています。

子どもは多様な他者と関わりながら育っていきます。その成長には家庭や学校の役割が要ではありますが、それと同じくらい地域の役割が大切です。隣近所の友達と遊んだり、地域の行事に参加して小さい頃から成長に合わせた体験を積み重ねていくことによって、地域への愛着が生まれ、共に社会をつくる責任ある地域の一員(担い手)として育っていくものと確信しています。

今こそ、地域の“おじさん”“おばさん”の出番です。国内の実践者が一堂に集い、情報交換することによって成果や課題を共有しあい、共に成長する機会とします。

2 主 催 全日本青少年育成アドバイザー連合会

3 主 管 北海道・東北ブロック青少年育成アドバイザー連合会
岩手県青少年育成アドバイザー連絡会

4 後 援 岩手県、岩手県教育委員会、盛岡市、盛岡市教育委員会、
公益社団法人岩手県青少年育成県民会議

5 期 日 令和6年6月22日(土)13時15分～23日(日)11時00分

6 会 場 いわて県民情報交流センター(アイーナ)8階804B【1日目：基調講演・総会】
〒020-0145 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 ☎ 019-606-1717
岩手県青少年会館(フラップいわて)3階多目的ホール
【1日目：交流・親睦会、宿泊、2日目：パネルディスカッション】
〒020-0196 盛岡市みたけ3-38-20 ☎ 019-641-4550

7 参加者 全日本青少年育成アドバイザー連合会会員、
青少年育成に関心がある方全般(約40人)

8 日 程 【1日目】13:45～16:45

13:15 開会式(開会あいさつ、ご来賓あいさつ、ご来賓紹介等)

13:50 基調講演

「トラウマを抱える子どもたちと向き合い育むということ」

講師：岩手医科大学 神経精神科学講座

講師：山家(やんべ) 健仁(たけひと) 氏

令和六年総会・研究集会

15:25 総会・全日本アド連会長表彰表彰式
16:45 1日目行事終了（貸切バスにより青少年会館へ移動）
17:00 【アイーナ発】
17:30 【青少年会館着】
18:30 交流・親睦会
20:30 閉会

【2日目】9:00～11:00

09:00 パネルディスカッション
テーマ「子どもの成長と地域共生社会」
～子どもが群れ遊ぶまち復活に向けた私たちの役割～
コーディネーター：岩手大学教育学部 准教授
深作（ふかさく）拓郎（たくろう）氏
パネリスト：岩手県と北海道のアドバイザー実践者
10:45 閉会行事（閉会あいさつ、次期開催県あいさつ）
11:00 解散

9 参加費 総会・研究集会 4,000円、交流会・懇談会 5,000円、
宿泊（1泊朝食付き）6,000円

10 申込み 別紙様式により参加する会議等を選択の上、メール、ファックス等により5月20日（月）までにお申し込みくださるようお願いいたします。また、貴協議会の会員分を取りまとめられ一括してお送りいただければ幸いです。【参加費は6月3日（月）までに別紙記載のゆうちょ銀行口座にお振込みくださるようお願いいたします。】

11 宿泊 青少年会館での宿泊は、15畳～18畳までの和室に7人～9人が同室に宿泊するかたちです（いわゆる雑魚寝になります。）。個室をお望みの方は盛岡駅周辺等にビジネスホテルがございますので、それぞれご予約いただき、2日目は盛岡駅から路線バスで会場までお越しくください。（ビジネスホテル☎、バス時刻表等は別紙を参照願います。）

12 その他 総会・研究集会に先立ち次により理事会を開催いたします。

【日時】6月22日（土）11時15分～12時15分まで

【会場】いわて県民情報交流センター（アイーナ）8階会議室804B

■お問い合わせ先

岩手県青少年育成アドバイザー連絡会事務局 浅沼 浩

〒020-0125 岩手県盛岡市上堂1丁目8-11（自宅）

☎：090-5596-3679（携帯） FAX：019-606-1765（コーサポいわて 浅沼あて）

E-mail：hiroshi-a9129@outlook.jp